

## 映画の小箱

飛行機事故。妻の遺品に残された謎の鍵。同じ事故で夫を亡くした女性との出会い。悲劇は残された2人に“個”の自覚を強く求める。

金丸弘美=文  
text by Hiromi Kanamaru

『ランダム・ハーツ』

# ある日突然訪れる悲劇、 そこから始まる人生のパズル

どんなにか平穏で過不足ない日常でも、ある日突然思いもよらない出来事が訪れることがある。

ここに二人の大人の男女がいる。ダッチ（ハリソン・フォード）は、ワシントンD.C.警察の内務捜査班に勤める巡査部長。違法な酒場からんだ警官の贈賄行為の内偵をしている。

ケイ（クリスティン・スコット・トーマス）は下院議員。再選を目指して、選挙運動を展開している。

この結びつかない二人が、運命のいたずらで出会ってしまう。

それは飛行機事故だ。ダッチはバーのテレビで墜落事故のニュースを観た。ダッチの妻が乗っていた可能性がある。そしてそれは真実のものとなった。だが事故の後、ダッチが知らない出来事が次々と現れる。

妻はファッションコーデイナーをしてきたのだが、彼女の職場の同僚や上司に聞いても、会社の出張ではなかったという。

ダッチの妻は、チャンドラーという男の妻として偽名を使って搭乗していたのである。そして妻の遺品の中には、知らない鍵が残されていた。

ダッチは彼女の行動にショックを覚える。彼女と同乗した男はなにものだったのか。その男とは、議員でケイの夫だったのだ。

話はミステリーのように進んでいく。ケイは、自分の家まで訪ねてきて、夫の過去と自分のプライバシーに入りこもうとするダッチを、最初はかたくなに拒否している。しかし次第に夫の過去に触れ、そしてダッチに心を聞き始める。

どうみても世間からは、成功して、自分の仕事の目的を果たし、地位も申し分なく

満たされている二人。ところが夫と妻と、それぞれを亡くすという突然の悲劇

の中で、完璧と思われた家庭と、自分自身の現在、生き方そのものを振り返らざるを得ない事態に追い込まれてしまうのだ。

発端は悲惨な航空機事故なのだが、しかしその後には、政界を揺るがすような事件も、派手

な撃ち合いも待ち受けているわけではない。ダッチとケイという、熟年を迎えた二人の足元に広がる心のゆらぎこそがミステリーであるという展開をみせ、そこがこの物語に人の生き方、人生というものに陰影をつけ、深い味わいを与えている。

ダッチは贈賄の事件を追っているのだが、強引な捜査で、同僚からもあきれられる。そこには信じていた妻が、自分のまったく知らない行動をしていたというショックが当然影響もしていたはずである。仕事もうまく行き、肩書きもあり、満たされた家庭のはずだった。しかしそれは虚偽に満ちていたのだ。ダッチの足元は、いとも簡単にすくい取られてしまう。

ケイは事実を事実として受け止め、悲嘆にくれることをせずに、冷静で前向きであろう





# ローヤルゼリー 進化論

高品質ローヤルゼリー

+

アガリクス茸

JRJの高品質ローヤルゼリーに、注目されるアガリクス茸を配合。それが進化したローヤルゼリー、JRJスプリウムローヤルゼリーAGです。

若い働き蜂の咽頭線から分泌されるローヤルゼリー。女王蜂はこのローヤルゼリーだけを食べ、体長は働き蜂の2倍から3倍、寿命は働き蜂の1か月に比べ、3年から5年と長生きします。そして、生涯、毎日2,000個から3,000個の卵を産み続けます。この生命力の源がローヤルゼリーです。

JRJスプリウムローヤルゼリーAGは、最高品質のローヤルゼリーに「奇跡のキノコ」として世界的に注目されるアガリクス茸を配合。より積極的に健康を考える皆様にお応えしています。ぜひ毎日の栄養補給、健康維持にお役立てください。



**JRJスプリウムローヤルゼリーAG**

調製ローヤルゼリー

60粒 ¥35,000 / 150粒 ¥70,000 (消費税別)

健康しつかり。



**ジェーアルジェ株式会社**

本社: 東京都新宿区西新宿1-26-2 新宿野村ビル17階  
TEL: 03-3345-2888 〒163-0517



とする。だが選挙を推進するブレインは、夫の事故も残された娘も、選挙の票集め的手段に任せて上げようとする。夫は完璧で、自身も順風満帆のようにみえた。しかし、そこにはやはり歪みが見え始めていた。結婚からある程度たった成熟した家族。仕

事も家庭も一応の波にのり、そしてそのまま流れていこうとするときに、飛行機事故によって二人は自分自身に見直しを迫られるのだ。家庭はうまく動いているようで、どこかで繋がりが切れていった事実。仕事は完璧によどみなく理想的に流れているようにみえて、だが策略や妥協や事実の歪曲があり、青年期のような理想だけでは進まない。

ある程度さき見えてきた熟年期に、改めて問われる夫婦や家庭の姿、そして自分自身の生きがいや存在。それが一つの航空機事故をきっかけに、ダッチとケイという二人の生き方を浮かび上がらせる。

ここには生きるということが、単純に理屈や理想のレールだけでは進まないこと、たとえ家族であれ夫婦であれ、それは独立した個であること。そんなあたりまえのことが、まるでジグソーパズルのように浮かび上がる。

その大人の心理、人の存在というミステリーに迫る、この時間の流れは真実を浮かび上げられ、なかなか心地よいのである。なぜなら、そこにはだれにもある普遍的なテーマが内在しているからだ。

## 『ランダム・ハーツ』 RANDOM HEARTS

(1999年 ソニー・ピクチャーズエンタテインメント配給 アメリカ映画)

監督=シドニー・ポラック

出演=ハリソン・フォード/クリスティン・スコット・トーマス/チャールズ・S・ダットン/ボニー・ハント  
日比谷みゆき座ほか全国東宝洋画系にて公開中